

Nice Town Good People

中央区 第23号

こんにちは 町会です

世代を超えてふれあう
明るく楽しい町会・自治会活動

ぎんざさんちやうめ ひがし
銀座三丁目東町会



かち ひがし
勝どき東町会



ほんごくちやう
本石町町会



**町会・自治会活動に参加して
世代を超えたふれあいを！**

中央区の定住人口は、わずか十七年で最少時の二倍に迫る増加で、今や「十四万人都市」が目前となっています。

将来にわたり住み続けたいくなる「快適な都心居住」のまち中央区を実現するには、あらゆる世代の方たちが、毎日安全・安心に暮らせるよう、地域の人々同士の理解と信頼関係の構築が重要となります。

地域において、その中心的役割を担っている住民組織が町会や自治会です。

まさに、地域コミュニティの核として、防災・防犯活動や高齢者への声かけなど、日々の暮らしに密着した幅広い自主活動に取り組んでいただいています。

特に、防災活動では、防災訓練の実施や災害用備蓄品の一層の充実を図るなど、より安全で安心なまちづくりには大きな役割を果たされています。

さらに、四季折々の、盆踊りやもちつきなどの伝統行事も盛んです。子どもから大人まで幅広い年代の方たちがふれあえる地域イベントは魅力いっぱいです。

この『こんにちは町会です』は、主に町会・自治会に未加入の方に、町会・自治会のさまざまな活動を知っていただくことで、加入・参加のきっかけとなることを目的に発行しています。

さあ、皆さんも本紙を参考に町会・自治会の活動に積極的に加わり、快適な地域社会と活力あるコミュニティをともにつくっていきましょう！

京橋地域
宝珠稲荷神社の恩恵を受け
継承される数々の伝統行事
 銀座三丁目東町会
 会長 平石 勇夫さん



銀座三丁目東町会の一年は、宝珠稲荷神社の「元旦祭」から始まります。新年を迎えた午前0時に平石会長が太鼓を叩き始めると、それを合図に町内外から参拝客が次々と訪れます。その一人ひとりに町会員が神前に捧げる榊を手渡し、参拝を終えた人にお神酒をふるまい、みかんを配ります。毎年五十人ほどが「元旦祭」に参加し、互いに新年の挨拶を交わします。

「江戸時代創建の宝珠稲荷神社は文字通りまちの『宝』であり、数々の町会行事がここで行われます。ほとんど好天に恵まれるのは、鎮守様に守られているからでしょう。」と語るの、十代目会長の平石さん。

毎年二月に行われる「二之午祭」も町会独自の行事で、江戸情緒あふれる素朴な絵と文字が書かれた行灯が、二週間にわたって宝珠稲荷神社の前に飾られます。

「町会員の皆さんが協力して五十ほどの行灯を張り、夜には灯りをともします。最終日には鐵砲洲稲荷神社の宮司さんによる祝詞奏上が行われ、それが終わると行灯を撤去して新年会を行います。」と平石会長。新年会には毎年五十人ほどが参加し、結束を深めます。

若手会員や新規会員の積極的参加を期待したい



「十二月の『町会主催もちつき大会』も神社の前で開催し、二つの白で百キロのもちをつきます。婦人部の皆さんを中心に手際よく丸められたもちを、あんこやきなこ、大根おろしなどで味つけするほか、雑煮やいそべ巻きも用意し、三百人ほどにふるまいます。」と平石会長。もちは全町会員に配るため、皆さん大変喜ばれています。

今年の五月には、三年に一度の鐵砲洲稲荷神社の本祭りが行われるため、一月末から準備を始めます。本祭りがない年は、町会主催の「納涼盆踊り大会」を開催します。

「四十年以上続く盆踊りで、以前は宝珠稲荷神社の前で行っていましたが、参加者の増加に伴い、今は首都高速道路上の祝橋公園に移りました。太鼓の音が響き渡る中、やぐらの周りを大勢の老若男女が踊ります。焼きそばやフランクフルト、か

き氷、生ビールなどの模擬店はすべて町会が運営。子どもには無料でお菓子の詰め合わせを配ります。」と平石会長。二日間で約千人が訪れる人気のイベントとなっています。



そして、秋の「バスハイク」や「防災訓練」などの行事を経て、一年の最後となる町会行事が「歳末警戒」です。十一月二十九日から三日間、拍子木を叩きながら夜間パトロールを実施。大晦日は夜警終了後、そのまま「元旦祭」を迎えるので大忙しの夜となります。

「先輩方から受け継いだまちの伝統を守り、次の世代につなげたいとの使命感から、皆さん頑張っている活動してくださいます。町会活動は奉仕の精神がないとできないので、ありがたいですね。今後は若い方や新規会員の方、法人会員の方にもっと積極的に町会活動に参加していただけるよう、呼びかけていきたいです。」と平石会長。まちを愛する町会員の皆さんの精力的な活動により、今後とも伝統ある行事は確実に引き継がれていくことでしょう。



左から副会長の日向野さん、会長の平石さん、総務部長の小川さん

～町会・自治会の情報サイト「中央区町会・自治会ネット」をご利用ください～

中央区では、町会・自治会への新規会員の加入促進および町会・自治会同士の情報交換等の連携支援を目的とした「中央区町会・自治会ネット」を開設しています。

このホームページでは、町会・自治会に関する情報について、団体検索や情報検索機能により、①各町会・自治会のプロフィール、②イベント案内、③活動報告、④名所名店情報、⑤加入のご案内などが閲覧できます。そのほかにも、町会・自治会同士の連絡手段としての掲示板（会員のみ利用可能）や、地域に密着した行政情報などを掲載しています。

まちの魅力を共有する一手段として、「中央区町会・自治会ネット」を積極的にご活用ください。

中央区 町会・自治会ネット

検索

お問合せ先

区民部地域振興課自治振興係

03-3546-5337

※中央区のホームページからもリンクがありますので、ご利用ください。



日本橋地域

常盤小学校と白旗稲荷神社が培った
文化の薫る地域を守っていきたい

本石町町会

会長 岡田 親幸さん
おかだ ちかゆき



本石町は日本橋地域の最も西部に位置し、千代田区との境界に接しています。

「江戸時代は商人や職人のまちとして栄えました。中でも穀物商が多く集まっていたことから石町（こくちょう）と呼ばれていたようです。また金貨の鑄造を行う金座が置かれ、時を告げる鐘もあつて、賑やかなところだったようです。」と語るのは、町会活動を続けておよそ三十年という岡田会長です。

明治期に江戸金座跡に日本銀行が移転して以降、本石町は金融のまちとして発展。町内の常盤橋公園には、近代日本経済の基礎を築いた渋沢栄一氏の像が立っています。

「町会活動の核になっているのは、常盤小学校と白旗稲荷神社です。常盤小学校は明治六年創立で、都内最古の公立小学校の一つです。統廃合が続く中存続していますので、卒業生としては嬉しいですね。」と岡田会長。その校舎は東京都選定歴史的建造物に指定されています。

常盤小学校は町会の防災拠点にもなっており、非常時には避難場所となります。実際、東日本大震災の折には大勢の帰宅困難の方を受け入れました。また、夏には町会主催

の「ラジオ体操」が校庭で開催され、多くの子どもが参加します。

一方、白旗稲荷神社は、源義家が奥州征伐に赴く際、白旗を社殿前に立てて祈禱したことが社名の由来とされています。江戸時代には幕府から富くじの興行が許され、多くの人で賑わいました。

「町会では毎年二月に住民の健康や子どもたちの成長を祈願し、『初午祭』を執り行います。神田明神から宮司さんが来られ、お祓いをしていただくので、町内の子どもたちは毎年とても楽しみにしています。」と岡田会長。白旗稲荷神社はまちの人の心の中にある場所になっているようです。



高齢者に優しいまちを目指し
コミュニティを強化したい

「町会の役割は、犯罪のない安全

なまちを目指し、環境保全に努め、住民同士の親睦を深めることだと思っています。残念ながら住民は減少傾向で多くが高齢者ですが、だからこそ住民が手を取り合い、情報交換を行い、関係を密にして高齢者に優しいまちにしていきたい。」と岡田会長。町会員は約百世帯と小規模ですが、さまざまな行事を企画しています。



中でも二年に一度開催される「神田明神神田祭」は大きなイベントで、揃いの法被を着て大勢の見物客が見守る中、街中を練り歩きます。また、秋の「バスハイク」は親睦を深めるいい機会となっており、毎年三、四十名が参加。昨年は箱根に行きました。このほか、区主催の「クリーンデー」や「防災訓練」、「日本橋橋洗い」などの行事にも積極的に参加しています。

「本石町には、古い町であるがゆえの品格や豊かさがあり、それらは小学校や神社を中心に培われてきました。その文化を背景に町会活動を円滑に進めていきたいですし、今後もその精神を守っていくことが町会の責務だと感じています。」と話す岡田会長の言葉には、歴史あるまちの住民としての誇りと気概にあふれていました。

～中央区の企業の皆様へ～ 町会では法人企業会員の方も募集しています

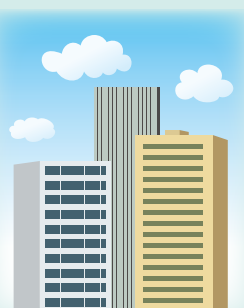
現在、「中央区」には、3万7千余りの事業所があり、72万人の従業員が働いています。

4年前の「東日本大震災」では、多くの帰宅困難者が発生した中、中央区においては町会のご協力のもと、2千人を超える人々を19の防災拠点において受け入れました。

町会は、日頃から地域の活性化とともに、行政と連携して防災・防犯活動などに取り組み、安全・安心に暮らせるまちづくりにも貢献されています。

法人企業においても、いざという時のため、日ごろから町会との連携を深め、地域内での協力体制を築いておくことが大切です。また、盆踊りやもちつきなど、町会が主催するさまざまなイベントに協力することで、地域の方とコミュニケーションを図ることもできます。さらに、町会に加入することで区の商工業融資を利用した場合、借受人負担利率を優遇する制度もご利用いただけます。

ぜひ、町会未加入の企業の方は、これを機会に加入しましょう！ 皆さんの事業所がどこの町会エリアに属しているかなど、町会に関する詳しい情報は、2面下段の「町会・自治会ネット」でもご覧いただけます。



島地域
地道な防災・防犯運動で
安心して暮らせるまちに

勝どき東町会
会長 藤枝 精治さん



防犯パトロールでは、「警察の協力を得ながら町会全域を十数名で回ります。その際、街灯もチェックし、電球切れを見つけたらすぐに連絡してつけ換ええます。夜道が暗いと犯罪が起きやすくなりますから、

勝どき東町会は、勝どき二丁目と四丁目から構成されています。町会員は約四百世帯で、半数がマンションなど集合住宅の住民です。
「この地域は戦災を免れたため、二軒長屋など木造の古い建物や細い路地がまだ残っています。また、築地市場に勤める人が多く、鉄工所などの工場が建ち並んでいたことも特徴です。」と語るのは、会長を務めて四年目という藤枝さんです。
町会で特に力を入れているのは防犯・防災活動で、「防犯パトロールのほか、「火災予防運動パトロール」を実施しています。

まちには常に明るくしておきたいのです。役員の方にはご苦労かけますが、『小さな犯罪も起こさせないよう、パトロールは一生懸命やりましょう』と呼びかけています。」と藤枝会長。そんな皆さんの地道な活動が、犯罪や火災発生の大きな抑止力になっていると言えるでしょう。
また、防災訓練にも積極的に参加し、日ごろから意識を高めています。

「特に区から支給されたスタンドパイプは、優れた防災用品として着目しています。消火栓に結合させてホースにつなげば直接水を出せるので、火災の初期消火に役立ちます。また、震災時に断水した場合もこれを使えば水を出せるので、本当に便利です。現在、町会の代表者が使用法を学んでいます。今後、誰かが使えるように訓練に参加していただきたいと思っています。」と藤枝会長。消防車輛が入れない住宅密集地でも消火活動ができるス



「今、住民が最も関心を寄せているのは、勝どき東地区再開発の問題です。町会の二十パーセントを占める地域が再開発地区に該当しているため、このまちの姿は今後大きく変わることでしょう。高層マンションが三棟建ち、約三千世帯が入居するとも聞いています。既存の町会員と新住民がうまく融合するためには、どのような町会活動を行えばいいの、現在模索しているところであり、これが今後の課題です。」と藤枝会長。変わりゆくまちに対応しながら、勝どき東町会は、将来を見据えた町会運営を目指して、今後も意欲的に活動を続けていきます。

このほか、三年に一度の「住吉神社例大祭」も大きな町会活動で、勝どき・豊海連合町会としてみこしや山車を繰り出します。
また、九月の「敬老の日」には、七十歳以上の町会員全員に記念品を贈呈するのが恒例です。毎年三百から四百個ほどの菓子折りを用意し、役員総出で自宅まで届けます。
十月の「バスハイク」には、毎年約七十人が参加。昨年はバス二台で千葉方面に行きました。区のイベント助成金を活用し、一人四千円(子どもは二千円)ほどの参加費で楽しめるので毎回好評です。

最大の関心事は再開発問題
新旧住民が交流できる町会に

コミュニティふれあい銭湯

中央区内の公衆浴場では、「コミュニティふれあい銭湯」として毎月第2・第4金曜日に一人100円(敬老入浴証持参者および小学生以下は無料)で銭湯をお楽しみいただけます。

みなさんのご利用をお待ちしています。

平成27年度の前期の日程は次のとおりです。

【開設日】 4月10日(金)・24日(金) 5月8日(金)・22日(金) 6月12日(金)・26日(金)
7月10日(金)・24日(金) 8月14日(金)・28日(金) 9月11日(金)・25日(金)

※第2金曜日は、季節にちなんだ草花の湯の趣向を楽しめます。

【時間】 各浴場営業時間 **【場所】** 中央区内公衆浴場(銭湯)
【対象者】 中央区内在住・通勤者 **【入浴料金】** 一人100円 ※ただし、敬老入浴証持参者および小学生以下は無料

お問合せ先 区民部地域振興課区民施設係 03-3546-5623

